

# MAGIC-P strategy 包括的栄養管理について

(シリーズ第4回 全6回)

栄養サポートチームでは本通信で勉強会の概要をお伝えし、より多くの方々に栄養管理について関心を持っていただきたいと考えております。

今回の講師は前回に引き続き、救命救急センター山口順子医師 (NSTディレクター) でした。

## Intestinal maintenance 腸管メンテナンス

一般に、急性で可逆性のストレスである外科侵襲(手術、熱傷、外傷など)や絶食で高カロリー輸液での管理、慢性で遷延性ストレス(放射線、抗腫瘍薬、炎症性腸疾患など)が生体に加わると、腸管は様々な程度のダメージを受けます。

### I: INTESTINAL MAINTENANCE (腸管メンテナンス)

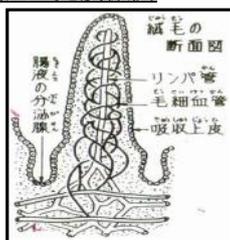
#### ○ 正常の腸の状態を維持する重要性

- ・正常な微絨毛
- ・腸粘膜質量
- ・腸バリア
- ・腸粘膜免疫性 **腸は人体における最大の免疫機関**

GALT: Gut-Associated Lymphoid Tissue  
(腸管関連リンパ組織)



- 早期経腸栄養
- GFO療法



### 経腸栄養法の禁忌

#### 1. 治療効果が期待できない場合

- 1) 下部消化管機械的完全閉塞(癌などによる)
- 2) 麻痺性イレウス
- 3) 難治性下痢症、急性腸炎などによる激しい下痢
- 4) 炎症性腸疾患急性増悪例
- 5) 下部消化管出血
- 6) 消化管外瘻(排液量が多い)
- 7) 重度急性膵炎
- 8) ショック、多臓器不全など

#### 2. ほとんど治療効果が期待できない場合

- 1) 癌化学療法による腸管障害が強いとき
- 2) 早期に経口摂食が可能などとき
- 3) 急性胃腸炎
- 4) 癌末期などの予後不良例
- 5) 短腸症候群(残存小腸30cm以下)

編著/城谷典保:経静脈・経腸栄養のすべて,メディカルフレンド社 2001:p11-15(表3より作成)

シリーズ第4回「病」に克つための栄養管理  
包括的栄養管理 MAGIC-P STRATEGYとは? スライドより

## When gut works, use it.

腸が使える場合は腸を使いましょう (gut: 腸管)

消化管が機能している場合には、

PN(静脈栄養法)ではなく、EN(経腸栄養法)をおこなきましょう。

特に外科侵襲の場合には、早期経腸栄養(侵襲発生後36時間以内)といわれています。

次回日時: 12月17日(木) 17時30分~

演題 MAGIC-P strategy (シリーズ第5回)

講師 救命救急センター

山口 順子医師 (NSTディレクター)

場所: 医学部 第一講堂